

CSR・環境報告書

2012



JFEプラリソース 株式会社

## 目次

---

ごあいさつ	1
会社概要	2

---

企業理念・行動規範・行動指針	4
----------------	---

---

社会的側面	5
マネジメント体制	6
お客様・お取引先様とともに	8
地域社会の皆様とともに	10
従業員とともに	13
社外からの評価	17

---

環境的側面	21
環境マネジメント	22
環境コミュニケーション	25
環境負荷の低減	29

◇報告対象期間

2011年4月1日～2012年3月31日

## 資源循環型社会づくりへ貢献

代表取締役社長

堀田 裕久



JFE プラリソース株式会社は、2009 年 7 月 JFE 環境株式会社の『容器包装プラスチックリサイクル事業』を会社分割して承継しました。以来、高炉やコークス炉へのプラスチック利用及び材料リサイクルを含めたプラスチックリサイクル事業を通して、資源循環型社会づくりに努めております。

NF ボードを利用した材料リサイクルにより『CO<sub>2</sub>削減』、更に使用後再リサイクルすることにより『化石燃料削減』等を実現しています。環境に優しい企業として、市民へのリサイクルの『見える化』に注力し、各種リサイクルを推進しております。

また、環境保全の重要性を認識し、事業活動に伴う環境負荷をできるだけ少なくするために、全員参加型の環境マネジメント活動を進め、トップレベルの環境配慮型企業を目指します。

今回新会社設立による体制変化をチャンスと捉え、現場パワーアップを通して働きがいのある会社を目指し、社員一同団結して『夢とロマン』の溢れる会社づくりに向け頑張っていきたいと考えております。

弊社に対し、より一層のご支援とご愛顧を賜りますようお願いいたします。

代表取締役社長

堀田 裕久

## 会社概要

会社名	J F E プラリソース株式会社		
代表者氏名	代表取締役社長 堀田 裕久		
役員氏名	取締役	鈴木 克紀 山田 正二 吉岡 敬二 石井 邦彦	
	監査役	氷室 徹行	
設立年月日	2005 年 11 月 2009 年 3 月登記（定款・社名変更）		
資本金	90 百万円		
売上高	約 30 億円		
従業員数	約 70 名		
住所	本社	〒210-0866 神奈川県川崎市川崎区水江町 5 番地 1 TEL 044-299-5193 FAX 044-299-5328	
	京浜事業部	同上	
	福山事業部	〒721-0956 広島県福山市箕沖町 1 1 3 番地 TEL 084-981-3160 FAX 084-981-3170	
URL	<a href="http://www.jfe-plr.co.jp/">http://www.jfe-plr.co.jp/</a>		
事業内容	一般廃棄物の再資源化およびリサイクル事業 上記事業に関する技術・装置および再生プラスチック商品の販売		
沿革	2000 年 4 月	水江原料化工場稼働（処理能力 185 t / 日） 福山原料化工場稼働（処理能力 200 t / 日）	
	2002 年 9 月	N F ボード製造工場稼働	
	2009 年 7 月	J F E 環境株式会社から容器包装プラスチックの リサイクル事業を承継 J F E スチール株式会社が全株式取得（100%子会社）	

京浜事業部  
水江原料化工場



N F ボード製造工場



福山事業部  
福山原料化工場



# 企業理念・行動規範・行動指針

## 企業理念

「JFEプラリソース株式会社は、環境と調和した社会の構築に貢献します。」

## 行動規範

「挑戦。柔軟。誠実。」

## JFEプラリソース株式会社 行動指針

JFEプラリソース株式会社の役員および社員は、「企業理念」の実現に向けたあらゆる企業活動の実践において、「行動規範」の精神に則るとともに以下の「行動指針」を遵守する。

経営トップは自ら率先垂範の上、社内への周知徹底と実効ある体制整備を行い、企業倫理の徹底を図る。

本行動指針に反する事態には、経営トップ自らが解決にあたり再発防止に努める。また、社内外への迅速かつ確かな情報公開を行い、権限と責任を明確にした上で厳正な処分を行う。

### 1. 良質な商品・サービスの提供

優れた技術に基づいた安全で高品質の商品とサービスの提供に努めるとともに、個人情報・顧客情報の保護に十分配慮し、お客様から高い評価と信頼を得る。

### 2. 社会に開かれた企業

株主はもとより、広く社会とのコミュニケーションを図り、企業情報について、社会への積極的な情報公開に努める。

### 3. 社会との連携と協調

良き企業市民として、社会との連携と協調を図り、積極的な社会貢献に努める。

### 4. グローバル化

グローバルな視点を持ち、各種の国際規範はもとよりそれぞれの文化や習慣を尊重し、世界の様々な人々との相互理解に努める。

### 5. 地球環境との共存

地球環境との共存を図るとともに、快適な暮らしやすい社会の構築に向けて主体的に行動する。

### 6. 政治や行政との関係

政治や行政との健全かつ正常な関係の維持・構築に努める。

### 7. 反社会的勢力への対応

市民社会の秩序や安全に脅威を与える反社会的勢力および団体とは、一切の関係を遮断し、違法・不当な要求には応じない。

### 8. 人権の尊重

社会の人々、従業員を個として尊重し、企業活動において一切の差別を行わない。

### 9. 働きがいのある職場環境

従業員にとって魅力に富み、安全で働きがいのある職場を提供する。

### 10. 法令の遵守

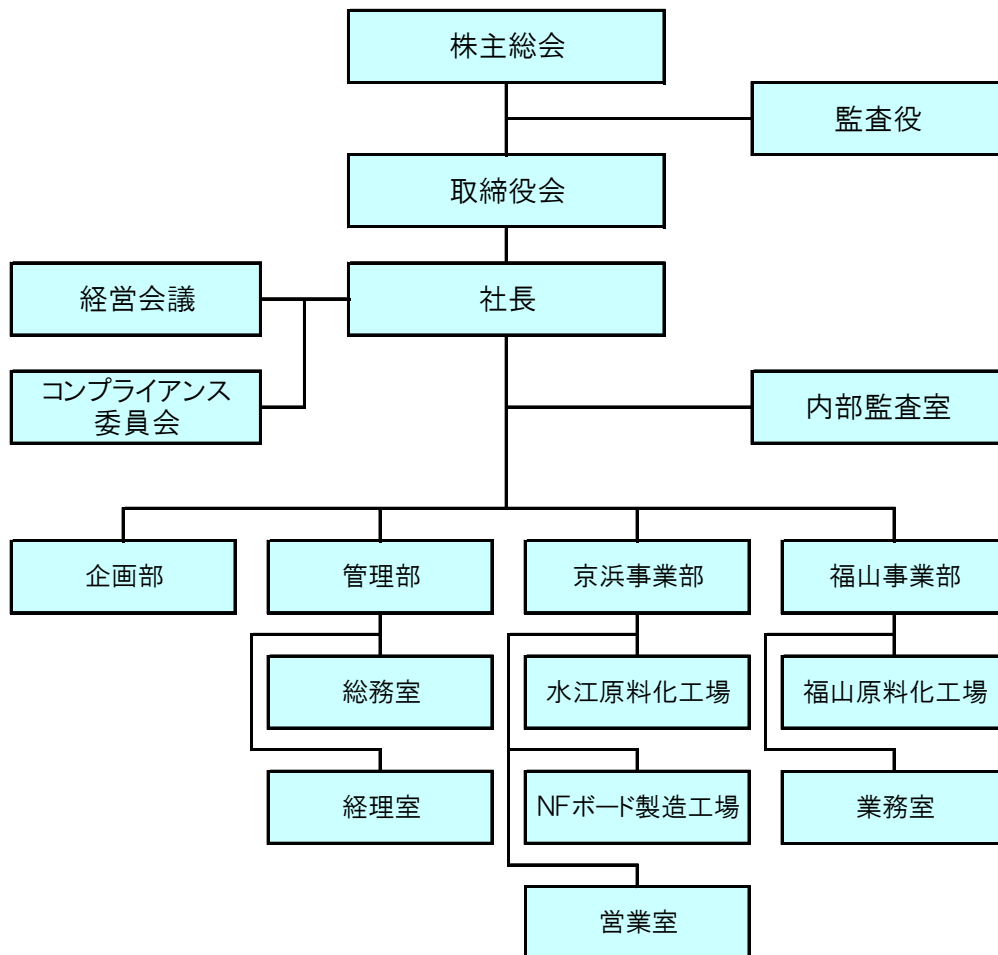
法令を遵守し、公正で自由な競争に心がけ、適法な事業活動を行うとともに、健全な商慣習に則り、誠実に行動する。

## 社会的側面

# マネジメント体制

## 経営体制

スリムな経営体制を構築し、効率的な事業推進による競争力の強化と収益力の拡大を図っています。



## 内部統制

内部統制体制は、取締役会規則・経営会議規則などの会議規程、組織・業務規程の制定や、企業倫理ホットラインの設置などによって整備されています。持続的な企業価値の向上のため、整備・運用状況について定期的に確認し、改善に努めます。

契約管理、環境管理、法令遵守状況などの業務プロセスについて、定期的な自己チェックを実施するとともに、内部監査室による監査を実施します。



---

## CSRマネジメント

社会を構成する一員としての企業の責任を自覚し、より良い社会の構築に向けて企業の社会的責任（CSR）を果たすべく、取り組みを強化しています。

### コンプライアンス（法令遵守）の徹底

CSRの基礎をなす「コンプライアンス（法令遵守）」を経営の最重要課題の一つとして位置づけ、社長をリーダーとするコンプライアンス委員会を開催し、以下の審議や情報交換を行うとともに、諸施策を実施しています。

- ・ コンプライアンス基本方針の審議・決定
- ・ コンプライアンス課題と対策の検討・実施
- ・ コンプライアンス案件の紹介と社内での周知徹底

### 企業倫理ホットラインの運用

コンプライアンスにかかわる重要情報が現場から経営トップ（社長）に迅速かつ正確に伝わるよう「企業倫理ホットライン」を設置しています。ホットラインの運用にあたっては、通報・相談者の保護に関する規則を定めています。

---

## リスクマネジメント

事業を取り巻くあらゆるリスクの予防と、緊急事態が起こった際にも事業を継続していけるよう、リスクマネジメントに取り組んでいます。

各工場で重要リスクを洗い出し、リスク評価・対応策を検討し、実行状況を管理しています。重要リスクは毎年見直し、各年度で重要課題を設定しています。また、工場間の情報交換や情報共有により、全社一体の活動を推進しています。

新型インフルエンザに対する対策や大型地震発生時の対策等について、重要継続業務リストの作成、備蓄品の整備などを進め、リスクマネジメントの強化を図っています。

# お客様・お取引先様とともに

## 品質管理、CS（お客様満足）向上

生産部門から管理部門まで技術標準を制定し、徹底した品質マネジメントを推進しています。お客様とのコミュニケーションを積極的に図り、お客様のご意見・ご要望に真摯に対応して、課題を解決することで、お客様満足度の向上をめざしています。

## 社会とのコミュニケーション

当社では2009年7月の発足以来、ホームページを開設しています。会社概要、事業案内（NFボード・ペレット）とともに環境への取り組みを掲載しています。

容器包装プラスチックのリサイクルを分かり易く理解いただけるよう「リサイクルの見える化」を目指しています。加えて、製品パンフレットやカタログを作成し、用途開発の提案も行っています。

また、ステークホルダーの方々とのコミュニケーションツールとして、資料の請求やお問合わせ等をしていただける窓口を設けています。

<http://www.jfe-plr.co.jp/>

随時、内容を更新し常に最新の情報を発信・公開できるよう努めています。



## 環境・省エネ・省資源情報開示

会社情報に加え、2011年度より毎月環境配慮データの増強・整備更新を行い、工場ごとに管理値を定め、毎月実績を公表しています。

### ■ 施設の維持管理記録(水江・福山)

工場	区分	項目	単位	至近の測定実績						測定頻度	備考	
				管理値	10月	11月	12月	1月	2月			3月
水江	大気(1系)	ばいじん	g/m <sup>3</sup> N	0.10	-	-	0.0	-	-	0.0	3ヶ月毎 (6,9,12,3月)	ライン 毎
		硫黄酸化物	m <sup>3</sup> N/h	1.45	-	-	0.1	-	-	0.1未満		
		窒素酸化物	ppm	230	-	-	15	-	-	10		
	大気(2系)	ばいじん	g/m <sup>3</sup> N	0.10	-	-	0.007	-	-	0.0		
		硫黄酸化物	m <sup>3</sup> N/h	1.45	-	-	0.1	-	-	0.1未満		
		窒素酸化物	ppm	230	-	-	5	-	-	10		
	振動	dB	70	-	-	42	-	-	42	敷地 境界		
	騒音	dB	75	72	72	72	72	72	72			
	汚泥排出量	t/t	0.04	0.04	0.04	0.03	0.03	0.03	0.03	毎月	原単位 (処理t 当たり)	
	電力使用量	kWh/t	650	581	583	587	528	528	528			
Cガス使用量	m <sup>3</sup> N/h	32	15	21	31	30	30	30				
水資源使用量	m <sup>3</sup> /t	0.38	0.29	0.27	0.26	0.22	0.22	0.22				
重機燃料 (軽油、ガソリン)	L/t	4.2	3.7	3.6	3.7	3.7	4.0	3.6				

工場	区分	項目	単位	至近の測定実績						測定頻度	備考	
				管理値	10月	11月	12月	1月	2月			3月
福山	大気(1系)	ばいじん	g/m <sup>3</sup> N	0.03	-	-	< 0.0017	-	-	< 0.0017	3ヶ月毎 (6,9,12,3月)	ライン 毎
		硫黄酸化物	m <sup>3</sup> N/h	1.85	-	-	< 0.018	-	-	< 0.02		
		窒素酸化物	ppm	230	-	-	< 15	-	-	< 15		
	大気(2系)	ばいじん	g/m <sup>3</sup> N	0.03	-	-	< 0.0018	-	-	< 0.0017		
		硫黄酸化物	m <sup>3</sup> N/h	1.85	-	-	< 0.014	-	-	< 0.02		
		窒素酸化物	ppm	230	-	-	< 15	-	-	< 15		
	振動	dB	65	-	-	38	-	-	35	敷地 境界		
	騒音	dB	60	59	59	59	58	59	59			
	汚泥排出量	t/t	0.055	0.055	0.053	0.045	0.041	0.036	0.035	毎月	原単位 (処理t 当たり)	
	電力使用量	kWh/t	345	366	396	405	405	384	370			
灯油使用量	L/t	9.2	12.1	12.3	12.7	14.4	13.4	8.1				
水資源使用量	m <sup>3</sup> /t	0.27	0.24	0.25	0.21	0.24	0.21	0.23				
重機燃料 (軽油、ガソリン)	L/t	4.0	4.6	4.3	4.9	5.2	4.4	4.6				

2012年度は更なる情報開示拡大を目指し、以下の3項目への取り組みを開始します。

	項目	単位	頻度
廃棄物管理	プラ廃棄物発生量	kg/ t <sup>ベ-ル</sup>	毎月
	プラ廃棄物熱利用効率	%	毎月
	汚泥排出量	kg/ t <sup>ベ-ル</sup>	毎月
環境負荷管理	CO <sub>2</sub> 排出量	kg-CO <sub>2</sub> / t <sup>ベ-ル</sup>	毎月
化学物質管理	消泡剤	kg/ t <sup>ベ-ル</sup>	毎月
	油脂	kg/ t <sup>ベ-ル</sup>	毎月

# 地域社会の皆様とともに

## 見学の受け入れ

地域社会に開かれた会社をめざして、一般市民の皆様の見学を積極的に受け入れています。市町村をはじめとする行政機関や海外の方々にも視察いただきました。

### 2011 年度見学実績

	件数	人数
一般	31	496
中央官庁	4	21
市町村	32	277
海外	3	33
計	70	827
(’10 年度実績)	(90)	(866)
(’09 年度実績)	(47)	(562)



## 啓発活動

資源循環型社会を実現するため、地域主催行事に多数参加・協力し、一般市民の皆さまに情報発信して、ご理解を深める活動を積極的に行っています。

### (1) 京浜地区

活動内容
① NPO法人 産業・環境創造リエゾンセンターの総会、定例会、交流会に参加。 当社の環境活動を報告。(5/16・7/6・9/26)
② 川崎市政策懇談会、連絡会に参加。 (7/26・10/11・2/16)
③ 川崎市臨海部リエゾン推進協議会、活性シンポジウムに参加。 (7/15・11/11・3/19)
④ CC川崎エコ会議、川崎コンパクト連絡会議に参加。 (11/4・3/15)

### (2) 福山地区

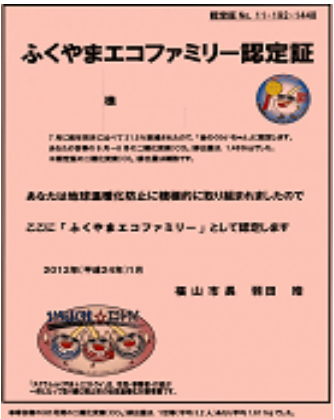
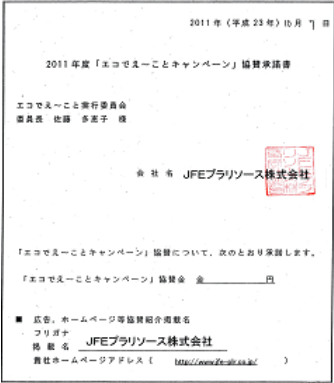
活動内容
① 「福山市ごみ処理施設等バス工場 見学ツアー」への協力。 福山市女性連絡協議会他5団体 (6/7・7/11・7/13・7/29 7/22・11/15)





## 行政との連携

プラスチック製容器包装の再資源化を中心に、環境活動全般について、市町村等の行政機関と以下のように連携しました。

期 日	行 事
2011年 6月	<p><b>ふくやまエコファミリー認定制度（福山市）</b></p> <p>福山市が温暖化対策事業として取り組んでいる「スクラムふくやま☆エコトライ」活動の一環。従業員各家庭にて、電気・ガス水道の使用量削減等に取り組む。 福山地区：12名 (6月1日～9月30日)</p> 
2011年 7月	<p><b>従業員に対する家庭エコ診断（環境省）</b></p> <p>環境省が事業活動のCO<sub>2</sub>削減節電対策に加え、事業者が支援する従業員の家庭での取り組みを推進。 その一助となる「家庭エコ診断」に参加。 京浜地区：14名</p> 
2011年 10月	<p><b>エコでえ〜ことキャンペーン（福山市）</b></p> <p>福山市がレジ袋削減等を通じ、市民の環境意識の醸成を目的とし地球温暖化防止月間省エネルギー月間までの3ヶ月間実施。 循環型社会の構築をめざす運動に協賛。 (12月1日～2月29日)</p> 

期 日	行 事
2011年 10月	<p><b>中原区エコカフェ（川崎市）</b></p> <p>川崎市中原区主催の区民祭りのイベント。説明パネルと製品サンプル展示、説明により当社のリサイクル事業内容、環境への取組と製品を紹介。 1日間の開催（10月16日）で、約20,000人来場。</p> 
2011年 10月	<p><b>第10回福山市リサイクルフェスタ（福山市）</b></p> <p>環境にやさしいライフスタイルのきっかけ作りの場として福山市が開催。当社再商品化製品やNFボードを多数展示し、プラスチック製容器包装のリサイクル推進を呼びかけ。 1日間の開催（10月30日）で、約3,500人来場。</p> 
2012年 1月	<p><b>福山市次世代エネルギーパーク（経済産業省）</b></p> <p>経済産業省による次世代のエネルギーについて実際に国民が見て触れる機会を増やすことを通じて、地球環境と調和した将来のエネルギーの在り方に関する国民の理解の増進を図る認定制度。認定関連登録事業場は弊社を含め11箇所。 テーマは「低炭素」「資源循環」施設が集積する“びんごエコタウン”からエコ情報を発信。</p> 
2012年 2月	<p><b>2012川崎国際環境技術展（川崎市）</b></p> <p>テーマを「今、かわさきから世界に伝えたい環境技術」とし、環境分野での産業交流技術移転による国際貢献の推進を目的として、川崎市が開催。製品サンプル等多数PR展示し、当社の環境への取り組みを紹介。 2日間の開催で、約13,500人来場。 (2月10日～11日)</p> 

# 従業員とともに

## 労働安全衛生

従業員の安全と健康の確保は、企業の基盤を成すものです。「安全は全てに優先する」の基本理念のもと、JPR安全文化を定着させるよう、「ワースト5作業」の改善活動を継続しています。

トップから「鳥虫魚の目で、鳥(マクロ感)、虫(現場を複眼で見る目)、魚(潮目をみる目)で安全最優先と行動前にひと呼吸」を発信中です。

### 2012年 安全衛生活動方針

#### 1. 基本理念

『安全は全てに優先する。』  
・異常時は必ず止めてKY実施

#### 2. 活動目標

『完全無災害の達成』

#### 3. スローガン

『鳥・虫・魚の目で安全再確認 ヨーシ!』

#### 4. 活動方針

- (1) 『行動前の深呼吸』活動の徹底
- (2) 工場の「ワースト5改善活動」を通して  
『日本一安全で快適な工場作り』
- (3) 明るい挨拶・指差呼称を通して  
『笑顔ではつらつとした安全人間創り』
- (4) 心と体の健康づくり  
『フェースチェックでメンタルヘルスケア』  
『運動と食事習慣改善で健康造り』



演練（ウィング車の清掃時の安全対策）



安全活動報告

## 防災への取り組み

### 防災管理

防災は企業の生命線であるとともに、社会に対して責務を負っているものです。

当社では、緊急時の処置基準、通報基準、連絡基準等を技術標準に規定し、万が一に備えています。また、発災リスク管理を行い、重点管理すべき項目を洗い出し、日々の防災点検を実施しています。



### 消防訓練

万が一の場合は、初動が重要です。

当社は、プラスチックという可燃物を大量に扱っていますので、火災予防に重点を置き、定期的に消防暑や製鉄所消防隊及び自衛消防隊との合同消防訓練等を実施しています。



水江原料化工場

2011年11月16日(水)

2012年 3月14日(水)

N F ボード製造工場

2011年11月18日(金)

2012年 3月16日(金)

福山原料化工場

2011年11月16日(水)



### 大規模地震想定訓練

2011年9月には、大規模地震及び津波が発生したという想定のもと、緊急事態の措置及び連絡対応・避難訓練を実施しました。緊急措置後の事業継続に必要な事項についても検討し、防災体制の強化を推進しています。

◇防災訓練 2011年9月16日(金)  
於：京浜地区





## 社外競技会への参加

市消防署の主催する消防競技会に毎年参加し、技能向上に努めています。

2011年9月28日(水)  
於：福山市芦田川河川敷



## 技術・技能の向上

日々のOJTに加え、初心者や新人を対象とした講習会を実施し、技術・技能の向上及び安全の再認識を目的としています。

◇フォークリフト講習会 2011年6月29日(水)  
於：福山原料化工場



## 労働安全衛生への取り組み

従業員の安全と健康を確保するため、ハード面とともにソフト面の充実を目指し、中でもメンタルヘルスに重点を置いた活動に取り組んでいます。

メンタルヘルスケア推進担当者を中心に社内はもとより産業医、専門機関との連携を緊密かつ双方向にすることで体制の充実を図っています。

きめ細やかな活動を継続することで、従業員の意識の向上を目指します。

また、毎朝のフェースチェックは習慣化し職場内でのセルフケアとラインケアの中間の役割を果たしています。



産業医講話(禁煙のすすめ)

### メンタルヘルスケア体制

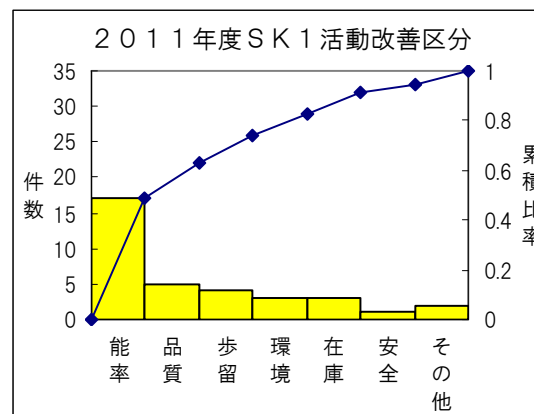
- (1)セルフケア
- (2)ライン(管理者)ケア
- (3)メンタルヘルス推進担当者
- (4)産業医・保健師によるケア
- (5)外部専門機関によるケア

## 小集団活動、事例発表大会（第3回）

小集団活動を『SK1活動（S：職場、K：活性化、1：No.1）』と名づけ、グループ内で積極的に意見を出し合うことにより、問題解決していく過程での個人の成長及び活力ある職場を目指すことを目的としています。社内では「職場活性化のバロメーター」とし、その積み重ねは「現場力」の向上に大きく寄与しています。

2011年度は35件のテーマ登録があり、その内5グループ5件が選定され事例発表大会にて成果を競い合いました。

今後もモチベーション維持を心がけ、更なる活発な活動を継続します。



◇事例発表大会 2012年2月16日(木)  
於：水江教育センター

## 安全大会（第3回）

「安全は全てに優先する」の基本理念のもと「完全無災害の達成」を目標に職場4S活動（整理・整頓・清掃・清潔）と挨拶活動を重点テーマとし安全活動を推進しています。

年間を通じた活動は、安全大会にて発表し、全社で情報共有し水平展開をしています。

2011年度の発表件数は4件でした。

◇安全大会 2012年3月30日(金)  
於：水江教育センター



## N F ボード商標登録

商標 : N F ボード  
 登録番号 : 登録第 5481636 号  
 出願番号 : 商標 2011-060201  
 出願日 : 平成 23 年 8 月 23 日  
 登録日 : 平成 24 年 3 月 30 日



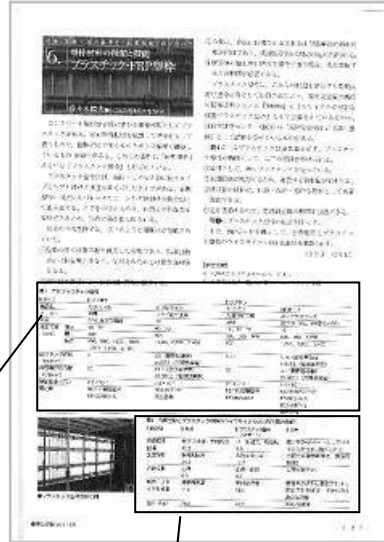
### 指定商品又は指定役務並びに商品及び役務の区分

- (第 17 類) プラスチック基礎製品、プラスチック製の梱包用緩衝材又は詰物用材料、その他のプラスチック製の梱包用資材、電気絶縁材料、ゴム製包装用容器、農業用プラスチックフィルム
- (第 19 類) コンクリート型枠用ボード（金属製のものを除く。）、セメント製品製造用型枠（金属製のものを除く。）プラスチック製建築専用材料、プラスチック製の畜舎用壁材、プラスチック製内装材、リノリウム製建築専用材料、合成建築専用材料、アスファルト及びアスファルト製の建築用又は構築用の専用材料、ゴム製の建築用又は構築用の専用材料、しっくい、石灰製の建築用又は構築用の専用材料、石こう製の建築用又は構築用の専用材料、繊維製の落石防止網、建造物組立てセット（金属製のものを除く。）、道路標識（金属製又は発光式若しくは機械式のものを除く。）、航路標識（金属製又は発光式のものを除く。）、吹付け塗装用ブース（金属製のものを除く。）、
- (第 20 類) プラスチック製の立て看板又は掲示板、プラスチック製の包装用容器、つい立て、びょうぶ、荷役用パレット（金属製のものを除く。）、輸送用コンテナ（金属製のものを除く。）、家具、ベンチ

# 掲載

## 1. 「月刊建築技術」2011年6月号

発行  
 : 株式会社建築技術  
 掲載記事  
 : 型枠材料の種類と機能  
 プラスチック・FRP型枠  
 引用  
 : 建築技術  
 2011年6月号  
 No.737 P.127



**表1 主なプラスチック型枠**

タイプ	リブ付き	リブなし	
商品名	カタパネル	ダブルライト	セフバン
メーカー	天馬	フクビ化学工業	大和技研工業
素材	PP+ガラス繊維	PP	ABS
外形寸法	厚み	60、72	60、72
(mm)	幅	600	300、600、900
	長さ	600、900、1,200、1,800、2,000、2,100	800
		1,800、2,200、2,400	
曲げヤング係数 (k N/mm <sup>2</sup> )	3	2.5 (設計基準値) 2.6以上 (管理基準値)	1.47
許容曲げ応力度 (k N/mm <sup>2</sup> )	50	10.0 (設計基準値) 35.0以上 (管理基準値)	37
線膨張率(/°C)	$2.2 \times 10^{-5}$	$7.0 \times 10^{-5}$	$7 \sim 9 \times 10^{-5}$
設定等	NET IS 樹脂型枠 KK-000020-A	BCJ-A IBT-11 再生型枠	NET IS 樹脂型枠 KK-000020-A
			NET IS NFボード KK-090078-A BCJ-A IBT-12 再生型枠

**表2 合板型枠とプラスチック型枠のライフサイクルCO<sub>2</sub>の発生量の比較<sup>2)</sup>**

段階別	合板	プラスチック型枠 (NFボード)	備考
資源調達段階	廃プラ焼却・木材伐採 40.9	ペール加工、残渣焼却 9.6	廃プラがNFボードとしてリサイクルされずに焼却される
生産段階	接着剤使用 24.2	製造エネルギー 13.7	合板では接着剤使用 製造枚数5枚
流通段階	出荷 0.5	出荷・回収 0.2	出荷枚数が1/5
廃棄・リサイクル段階	接着剤焼却 11.0	未回収焼却 18.9	接着剤の焼却と回収されずに焼却されるNFボードからの排出CO <sub>2</sub> の差
合計 (kg)	76.6	42.1	約45%削減

## 認定

### 1. 新建築技術

所掌

： 財団法人 日本建築センター

新技術名称

： 再生型枠「NFボード」

認定番号

： BCJ-AIBT-12

認定日

： 2003年9月26日～  
2013年9月25日



### 2. グリーン購入法

所掌

： 環境省

特定調達物品適合品

： コンクリート用型枠

名称

： NFボード

施工日

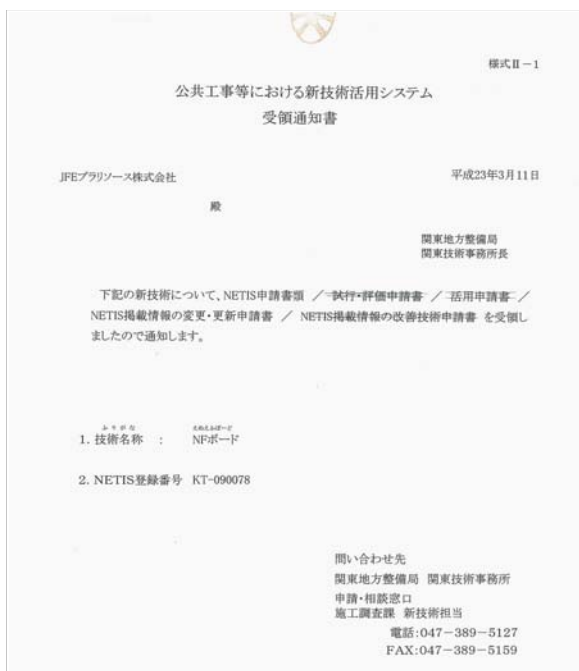
： 2008年





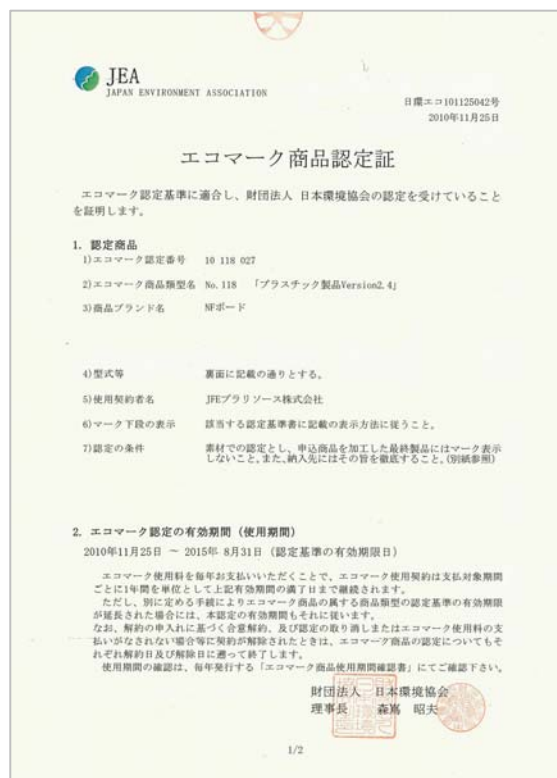
### 3. NETIS（新技術情報提供システム）登録

所掌  
： 国土交通省  
新技術名称  
： NFボード  
NETIS番号  
： KT-090078  
登録日  
： 2010年3月26日



### 4. エコマーク認定商品

所掌  
： 財団法人日本環境協会  
商品ブランド名  
： NFボード  
認定番号  
： 10 118 027  
認定期間  
： 2010年11月25日  
～  
2015年 8月31日  
商品類型名  
： No.118  
「プラスチック製品 Ver.2.4」



## 環境的側面

# 環境マネジメント

## 基本方針・行動方針

当社は容器包装プラスチックリサイクルを事業としており、事業自体が、循環型社会の実現に貢献するものです。基本方針・行動指針を以下のように定め、トップレベルの環境配慮型会社をめざして、実効ある活動を推進しています。

### 基本方針

JFEプラリソース株式会社は容器包装プラスチックリサイクル事業を通じて循環型社会の実現に貢献します。環境保全の重要性を認識し、事業活動に伴う環境負荷をできるだけ少なくするために、環境マネジメントシステムを導入し、全社一丸となって積極的に環境保全活動に取り組みます。

### 行動指針

- (1) 適用される関連法規及び規制を遵守します。
- (2) 環境マネジメントシステムを構築し、維持し、継続的に改善します。
- (3) 具体的には、以下の事項に取り組みます。
  - ①省エネ及びプラスチックリサイクル推進による二酸化炭素排出量削減
  - ②用水使用量の削減等による省資源
  - ③リサイクル率向上等による産業廃棄物削減
  - ④工場見学受入・環境展への参加等を通じて、地域環境教育への積極的取り組み
  - ⑤グリーン購入推進

JFEプラリソース株式会社  
代表取締役社長

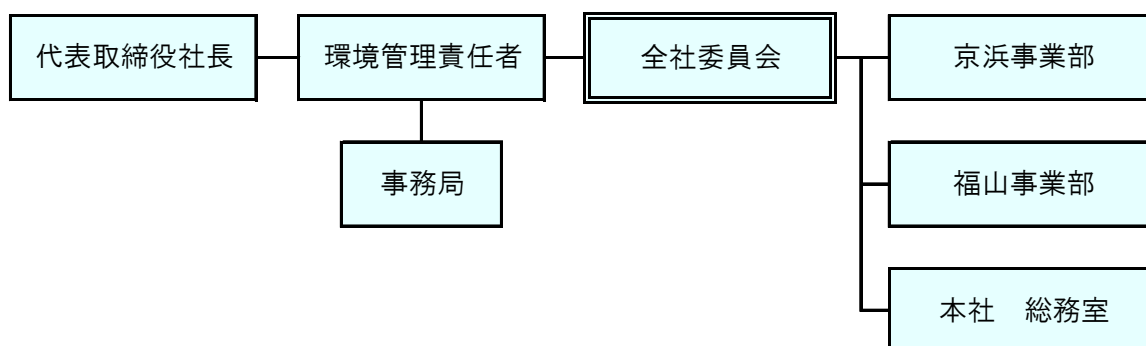
堀田裕久



## 環境マネジメント体制

環境に関わる事項を遵守することはもちろんのこと、環境と調和した事業活動を展開することが、今や企業が存続していくための基本要件となっています。

当社は環境マネジメントシステムを導入し、全員参加型の環境マネジメント活動を進めています。代表取締役社長が環境管理責任者を任命し、環境管理責任者は各部門の活動を統括しています。各部門では、部署長（本社は総務室長）が自身の部門を統括し、上位部門に対して責任を負う体制としています。



代表取締役社長	環境方針を決定する。 活動の総合評価と方針の見直しを行う。 環境管理責任者、その他の責任者を任命する。
環境管理責任者	全社委員会を運営する。 本社総務室長及び京浜事業部長、福山事業部長、事務局を指揮し、活動を総括する。
事務局	環境管理責任者を補佐し、活動実務を中心的に行う。
全社委員会	活動事項の決定、報告を行う。 代表取締役社長、環境管理責任者、京浜事業部長、福山事業部長、本社総務室長及び事務局で構成し、環境管理責任者が召集する。
京浜事業部長	全社委員会の決定事項に基づき、京浜事業部を総括する。
福山事業部長	全社委員会の決定事項に基づき、福山事業部を総括する。
本社総務室長	全社委員会の決定事項に基づき、本社部門を総括する。

## 認証取得

### 水江原料化工場

JFEスチール株式会社東日本製鉄所（京浜地区）傘下で、ISO14001による環境マネジメントシステムを運用しています。

立地する東日本製鉄所（京浜地区）一体で取り組むことにより、地域の環境パフォーマンスの改善を強力に推進しています。



### NFボード製造工場、福山原料化工場

省エネルギーや省資源など、事業活動に伴う環境負荷の低減について、より具体的な成果を得るべく、「エコアクション21」の認証取得・登録をしました。

環境への負荷・取組の自己チェック、環境方針・環境目標・活動計画の策定、計画の実施、取組の評価、見直しをガイドラインに沿って毎月実施しています。

2011年度を総括して評価するとともに、2012年度の目標設定見直しを行います。



# 環境コミュニケーション

## 地域との融和をめざして

「私達は環境と調和した社会の構築に貢献します」の看板を工場入口に設置し、地域の皆様に当社の方針を宣言しています。また、地域の皆様にとって和める会社をめざして、高木、芝地、草花の植栽を整備しています。



## 公道清掃活動

地域の皆様に当社工場周辺を心地よく通行いただけるよう、公道の清掃を定期的に行っています。工場内の植栽と合わせて、すがすがしさの醸成に努めています。



＝ 京 浜 ＝



＝ 福 山 ＝

## 使用済プラスチックリサイクル一貫システムを通じて

当社は、一般家庭から排出されたプラスチック製容器包装を再資源化し、再生プラスチック商品（NFボード等）を社会にリサイクルしています。使用済プラスチックリサイクル一貫システムにより、循環型社会の実現に貢献しています。

### 1) 一般家庭から分別排出

一般家庭で発生したプラスチック製容器包装は、貴重な都市資源です。まず、分別して排出していただきます。

### 2) 市町村の分別収集・選別・ベール化

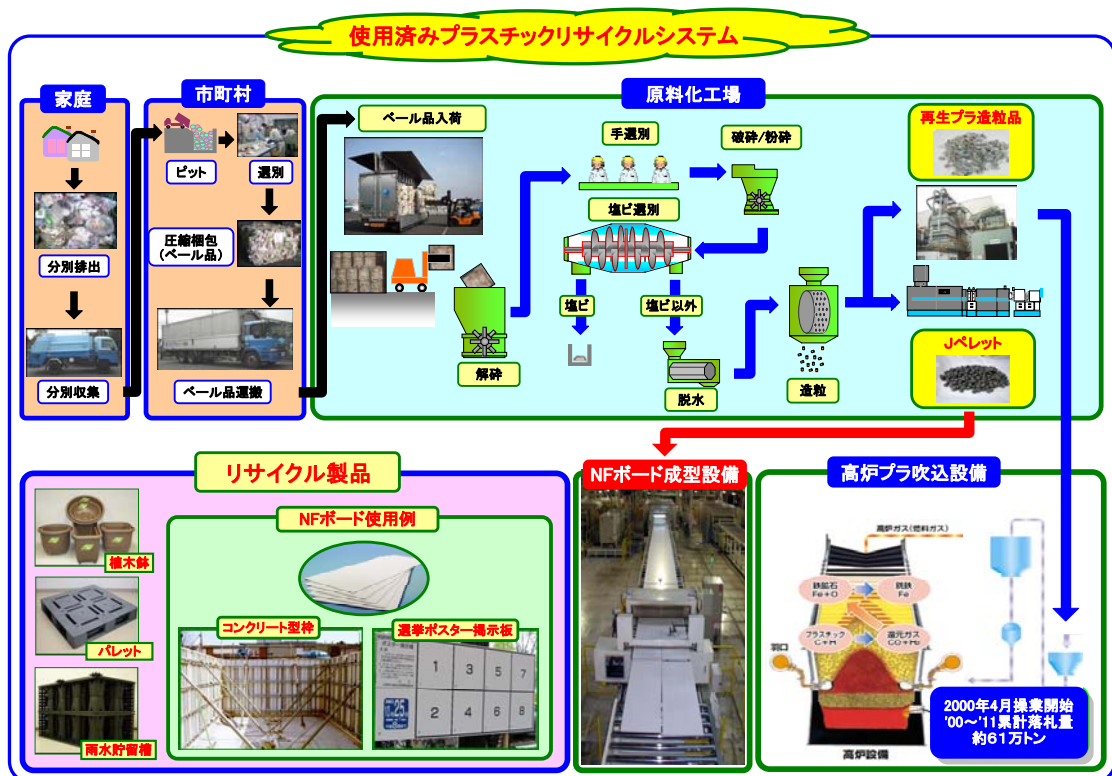
市町村が分別収集し、異物を取り除く選別と圧縮ベール化を行います。

### 3) 当社で再資源化

当社でさらに選別/破碎/粉碎/塩ビ分離/洗浄/脱水/乾燥後、造粒/ペレタイズして、再生プラ造粒品及びペレットとします。

### 4) 社会にリサイクル

NFボードなどの再生プラスチック商品に加工され、社会に材料リサイクルするとともに、高炉でコークス代替原料として利用され、石炭や微粉炭等の化石資源の節約に寄与します。





## 製品を通じて

当社では、プラスチック製容器包装の再資源化商品として再生プラスチックボードを製造しています。再生プラスチックボードはバージンプラスチックの代替となり、資源節約に貢献しています。

三層からなる「NFボード」、単層の「SLボード」の二種類をご用意し多種多様なお客様のニーズにお応えできる製品作りを目指しています。

型枠代替や畜舎内壁から選挙ボードなどの掲示板やトラック内装材、製鉄所で使用されるコイル保護板など多方面で利用いただいています。加えて2011年にはJFEスチール（株）西日本製鉄所福山地区における本館新築工事で床スラブ型枠として多数使用されるなど用途は拡大中です。

また、ペレットと呼ばれる再生プラスチック原料はプランター・パレット・雨水貯留槽などの生活に密着した製品に加工されます。

見学いただいた皆様へリサイクルへの関心をより一層深めていただけるよう、工場内に展示・PRコーナーを設けご案内しています。



京浜 展示・PRコーナー

福山 展示・PRコーナー

## NFボード・SLボード



## ペレット



# 環境負荷の低減

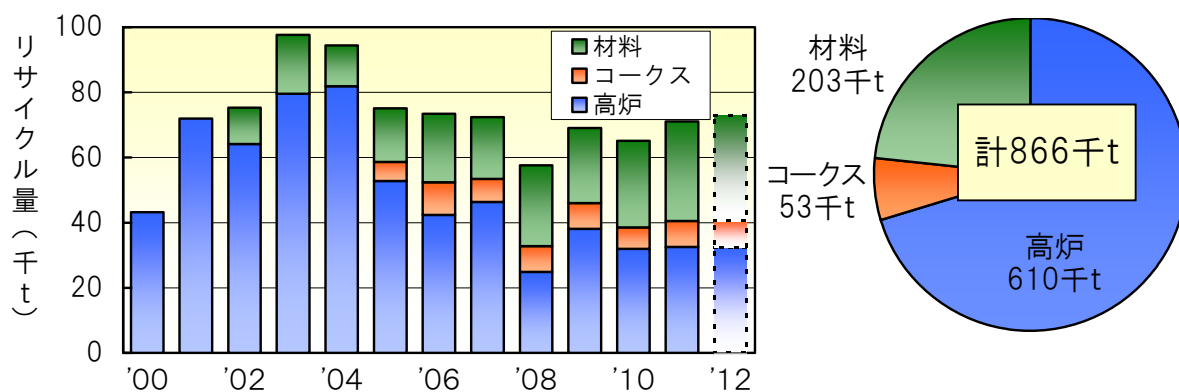
## プラスチック製容器包装のリサイクル

当社は、容器包装に係る分別収集及び再商品化の促進等に関する法律（容器包装リサイクル法）に基づき、一般家庭から排出されたプラスチック製容器包装を再資源化し、再生プラスチック商品として社会にリサイクルしています。

容器包装リサイクル法では、5つの手法が定められており、当社は、「高炉還元剤」、「コークス炉化学原料化」、「材料リサイクル」の3手法を行っています。2000年4月の法施行と同時にリサイクルを開始し、以来、資源循環型社会づくりに努めています。

工場	手法	2000	2002	2004	2006	2008	2010	2011	2012
水江 原料化工場	高炉	→ 12年							
	コークス				→ 7年				
	材料		→ 10年						
福山 原料化工場	高炉	→ 12年							
	材料				→ 6年				

2000年度の事業開始以降、プラスチック製容器包装をトータル約900千tリサイクルしています。これは、全国総量の約15%を占めています。



プラスチック製容器包装リサイクル量の推移

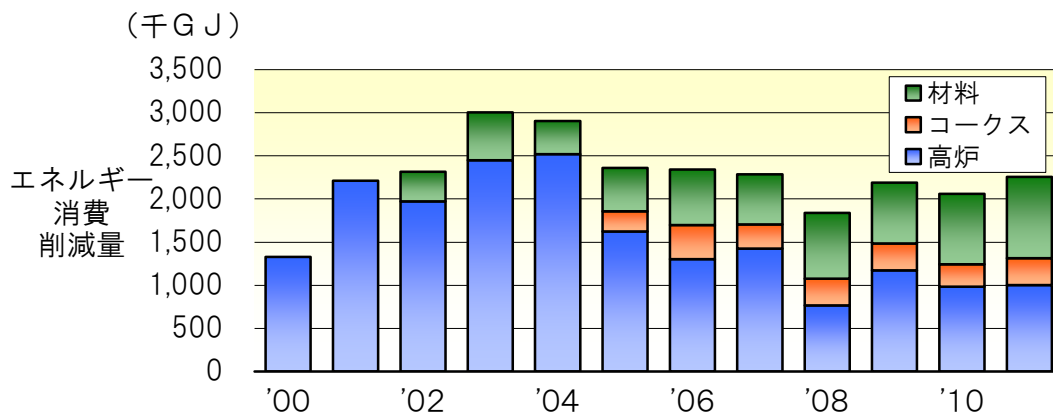
リサイクル手法の内訳

(’00～’11 866千t)

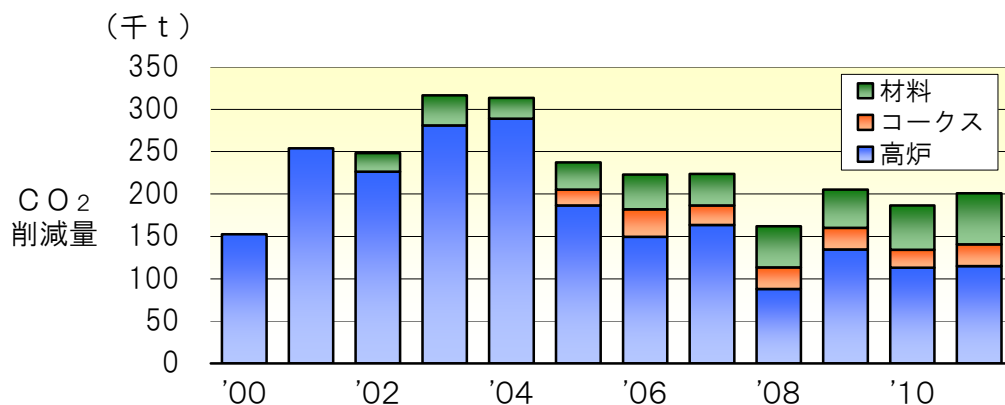
## リサイクルによるエネルギー消費、CO<sub>2</sub>排出の削減

公益財団法人日本容器包装リサイクル協会は、エネルギー消費量、二酸化炭素排出量等の環境負荷削減効果について検討・評価し、「プラスチック製容器包装再商品化手法に関する環境負荷等の検討」（2007年6月）にまとめています。

同報告に記載の削減原単位を適用すると、当社のエネルギー消費削減とCO<sub>2</sub>削減効果は以下のようなようです。エネルギー消費削減量は年間約2,000千GJ、CO<sub>2</sub>削減量は年間約200千tで推移し、環境負荷削減に寄与しています。

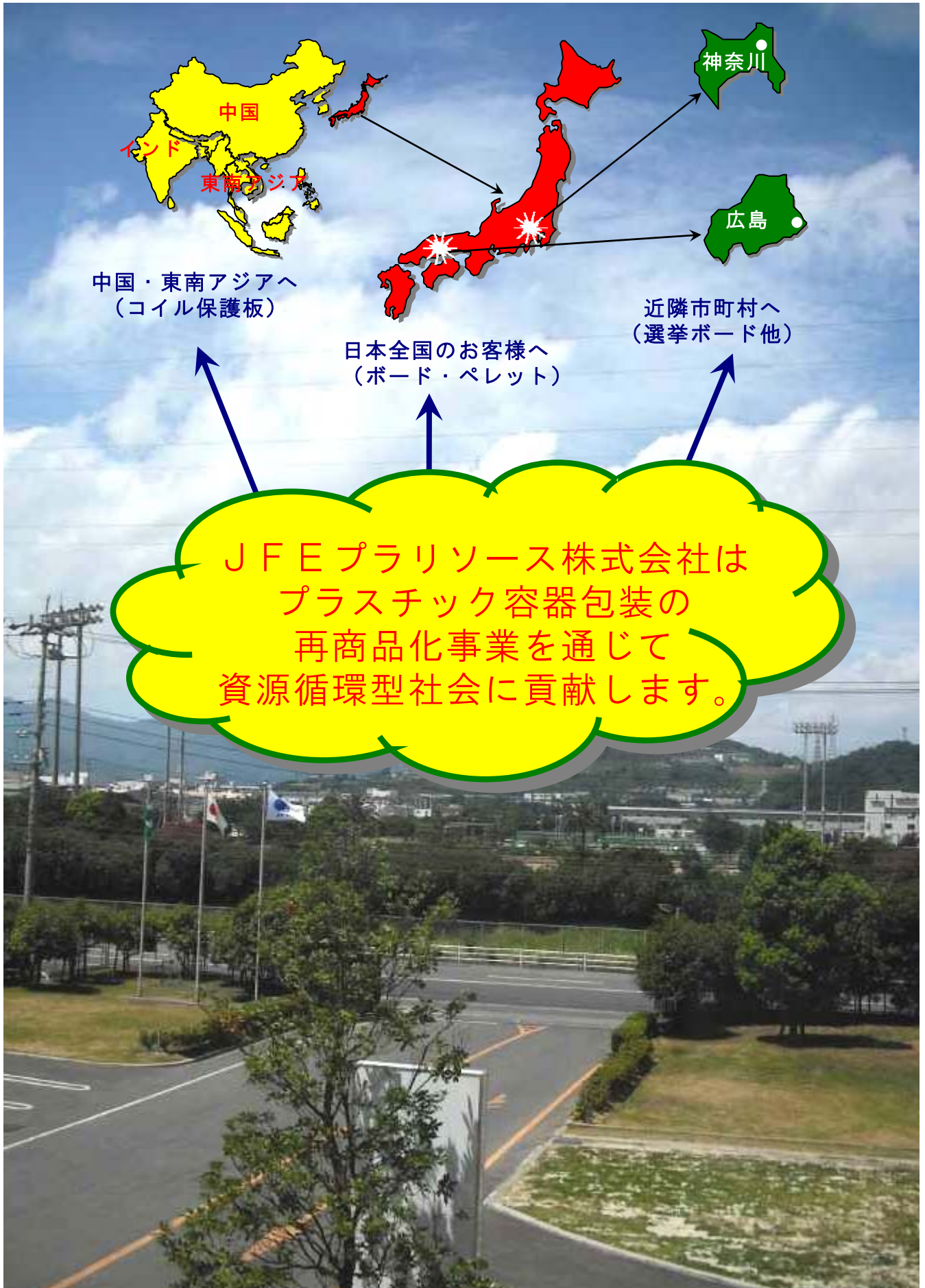


リサイクルによるエネルギー消費削減量の推移



リサイクルによるCO<sub>2</sub>削減量の推移





中国・東南アジアへ  
(コイル保護板)

日本全国のお客様へ  
(ボード・ペレット)

近隣市町村へ  
(選挙ボード他)

JFEプラリソース株式会社は  
プラスチック容器包装の  
再商品化事業を通じて  
資源循環型社会に貢献します。



## J F E プラリソース 株式会社

---

本社・京浜事業部

〒210-0866 神奈川県川崎市川崎区水江町5番地1  
TEL 044-299-5193 FAX 044-299-5328

福山事業部

〒721-0956 広島県福山市箕沖町1-1-3番地  
TEL 084-981-3160 FAX 084-981-3170

<http://www.jfe-plr.co.jp/>